

2026年5月29日

## 「北東北地区（青森県・岩手県）における鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会」の概要について

標題について、当社では「今後の鉄道物流のあり方に関する検討会 中間とりまとめ（2022年7月公表）<sup>(注)</sup>」を受け、この間、災害時をはじめとする輸送障害への対策強化への取組みの一つとして、災害時輸送障害に係る「BCP策定に向けた官民一体の検討会」を開催してまいりました。

この度、2026年2月から3月にかけて、東北運輸局及び当社を共同事務局とし、青森県青森市および宮城県仙台市において、「北東北地区（青森県・岩手県）における鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会」を計2回開催いたしました。

本検討会においては、輸送障害発生時のトラック・内航海運による代行輸送強化、輸送障害の発生抑制・影響の低減、関係者の連携促進等のために当社におけるBCP策定に向けた取組み内容を共有したほか、課題等について議論を行ないました。別紙のとおり本検討会の概要をとりまとめましたのでお知らせいたします。

なお当社では、今後も関係者と連携し、地域ごとのBCP検討を通じて輸送障害対策の強化を進めてまいります。

別紙 「北東北地区（青森県・岩手県）における鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会」の概要について

(注) 「今後の鉄道物流のあり方に関する検討会 中間とりまとめ」とは

2022年3月より諸課題の解決を図り、貨物鉄道が重要な輸送モードとして、その特性を十分に活かした役割を発揮するための政策のあり方等を議論する有識者検討会を開催。5回の議論を重ね、2022年7月、「中間とりまとめ」が公表されました。この検討会では、14の課題が掲げられ、その中の課題の一つとして「災害時をはじめとする輸送障害への対策強化」について提言されました。

# 北東北地区（青森県・岩手県）における鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会

## ▶ 構成員

- ▷ 利用運送事業者 日本通運(株)、八戸港湾運送(株)、全国通運(株)、日本フレートライナー(株)、及び港湾荷役事業者 (公社)全国通運連盟、全国通運業連合会、協同組合 全国地区通運協会
- ▷ 国の機関 国土交通省鉄道局【事務局】  
東北運輸局(総務部・交通政策部・鉄道部【事務局】・自動車交通部・海事振興部)  
東北地方整備局(道路部・港湾空港部・青森港湾事務所・八戸港湾空港整備事務所)
- ▷ 地方自治体 青森県、青森市、八戸市  
岩手県、盛岡市
- ▷ 鉄道事業者 東日本旅客鉄道(株)盛岡支社、青い森鉄道(株)、IGRいわて銀河鉄道(株)、八戸臨海鉄道(株)、日本貨物鉄道(株) (鉄道統括部【事務局】・営業部・運輸部・経営企画部・東北支社) (一社)東北港運協会、(株)ジェイアール貨物・東北ロジスティクス
- ▷ その他

## ▶ 開催日時

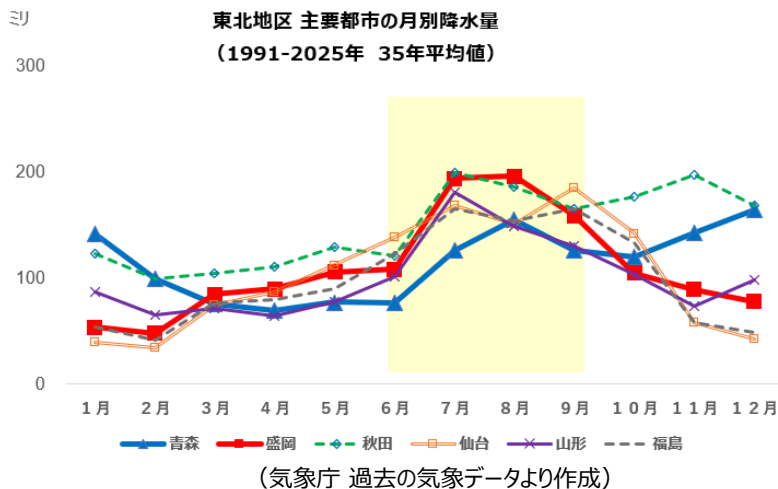
- 第1回：2026年2月20日（金）13時30分～
- 第2回：2026年3月26日（木）13時00分～

## 1. 貨物鉄道輸送における災害について

### (1) 岩手県内における大雨等による大規模輸送障害への備え

- ・北東北エリアの線区を運行する貨物鉄道にとって幹線が寸断された場合の輸送力確保が課題。
- ・東北地区において、岩手県は豪雨リスクがとくに高い。
- ・いわて銀河鉄道線内が大豪雨等による寸断されることを想定し、盛岡貨物ターミナル駅～東青森駅・八戸貨物駅間のコンテナ積載トラックによる代行輸送体制強化を議論した。

(図1) 年間降水量の50%が6～9月に集中、2022年7,8月の大雨時いわて銀河鉄道線内が被災  
 (図2) 「土砂災害危険箇所(全国52万箇所)」は、岩手県(15位)で東北地区では最上位



### 都道府県別土砂災害危険箇所

都道府県名	箇所数	順位
広島	31,987	1
島根	22,296	2
山口	22,248	3
岩手	14,348	15
福島	8,689	27
宮城	8,482	28
秋田	7,685	31
青森	4,005	44
全国	525,307	

(国交省 水管理・国土保全局データ)

### (2) 有珠山噴火への備え

- 有珠山は、平均30～35年周期で噴火を繰り返す傾向。
- 有珠山噴火等の災害に備え、北海道～青森県間の内航海運による代行輸送体制強化を議論した。

#### 有珠山の過去200年の噴火状況

噴火	前回噴火からの間隔	噴火の場所	災害の種類
1853年	31年	山頂	火砕流・降灰
1910年	57年	山麓(北麓)	火砕流・降灰
1943～1945年	33年	山麓(東麓)	熱泥流・降灰
1977～1978年	32年	山頂	火災サージ・降雨型泥流・降灰
2000年	22年	山麓(北西麓)	火災サージ・熱泥流・降灰

#### 有珠山が噴火した際の鉄道・道路影響想定



## 2. 速やかな代行体制の確立に向けた課題整理および検討会での確認事項

### (1) 災害発生時の代行トラック用駐車場確保の課題

#### (課題等)

- 大規模な代行輸送（トラック・船舶）を実施する際は、全国からコンテナ積載トラックが参集。東青森駅・八戸貨物駅・盛岡貨物ターミナル駅周辺におけるトラックの夜間・休日駐車場の確保がボトルネックとなり、代行輸送開始・増強に時間を要する。

#### (検討・要望内容)

- 発災時、迅速なトラック代行輸送の開始のため、東青森駅・八戸貨物駅・盛岡貨物ターミナル駅周辺に夜間・休日の代行トラック駐車場スペースとして公共用地等、または、駐車場スペースとなり得る用地の情報提供を要請。

#### <確認事項>

- 東青森駅・八戸貨物駅・盛岡貨物ターミナル駅周辺の公共用地等を候補地とする。

### (2) 代行トラック(コンテナ積載)における通行規制について

#### (課題等)

- 代行輸送（トラック・船舶）を実施する際は、代行拠点となる東青森駅・八戸貨物駅・盛岡貨物ターミナル駅に全国からコンテナ積載用トラックが参集する計画である。  
2個積みトラックの高さ・重さ指定道路以外の通行や3個積みセミトレーラー連結車の通行については、特殊車両通行許可の新規取得を要する場合がある。物流が寸断・混乱する中、許可取得に要する時間を迅速化したい。



#### (検討・要望内容)

- トラック代行輸送実施時、（公社）全国通運連盟とJR貨物から国土交通省に対し、特殊車両通行許可手続きの迅速化についての、ご協力を要望。
- 盛岡貨物ターミナル駅～東青森駅・八戸貨物駅間の想定経路を、「高さ・重さ指定道路」に指定頂くことで、発災後、2個積みトラック（新規格車）による代行輸送が直ちに可能、代行輸送の立ち上げが迅速化される。

#### <確認事項>

- 特殊車両通行許可について、自治体・国が迅速な処理をすることを確認。  
ただし、可能な限り特殊車両通行確認制度を利用することを推奨する。
- 盛岡貨物ターミナル駅～東青森駅・八戸貨物駅間の想定通行経路は、全て「高さ・重さ指定道路」に指定済であることを確認。

**JRコンテナ積載トラック** JRコンテナ積載トラックは、「長さ」「総重量」が法令規制の「一般的制限値」を超える大型の特殊車両が主流

2個積みトラック			
車両規格	コンテナ積載個数	積車合計	
 高さ 約1.1~1.3m(荷台) 重さ 約10トン 長さ 12m以内	12ft × 2個 = 14t 20ft × 1個 = 13.5t 31ft × 1個 = 最大約15t	最大で 高さ 約4.0m 重さ 約25t	高さ：3.8m超 総重量：20t超 →高さ4.1m・総重量25tを超えない場合、高さ・重さを指定道路は通行許可等不要
	} 高さ 2.5~2.7m		
3個積みセミトレーラー連結車			
車両規格	コンテナ積載個数	積車合計	
 高さ 約1.0~1.4m(荷台) 重さ 約14トン (トラクタヘッド含む) 長さ 16.5m以内	12ft × 3個 = 21t 20ft × 1個 = 13.5t 31ft × 1個 = 20t	最大で 高さ 約4.0m 重さ 約35t	高さ：3.8m超 総重量：20t超 長さ：12m超 →長さ12mを超えるため、通行許可等が必要
	} 高さ 2.5~2.7m		

### (3) 青森港・八戸港における岸壁使用および港湾荷役作業のご協力、並びに承認手続きの課題

#### (課題等)

- 迅速な船舶代行立上げのためには、青森港・八戸港で事前に利用を想定する岸壁での、利用運送事業者、港湾荷役事業者並びに港湾管理者との連携確認が必要。

#### (検討・要望内容)

- 発災時、船舶代行立上げ迅速化のため、青森港・八戸港での岸壁確保及び港湾荷役作業のご協力を要望。

#### <確認事項>

- 利用運送事業者並びに港湾荷役事業者は、JR貨物からの要請を受け、青森港・八戸港の港湾荷役作業等が確保される場合、岸壁及び臨港道路の使用許可申請を港湾管理者へ速やかに提出する。  
港湾管理者は、発災時に岸壁及び臨港道路の使用許可申請を受けた場合、可能な限り迅速に対応する。